

地域の危険性を知って災害に備える

土砂災害から命を守れ！

6月は「土砂災害防止月間」です。近年、1000年に一度と言われるような大災害が日本全国で毎年のように発生しています。

長門市においても決して起こらないとはいえず、大災害の備えを万全にして、自らの大切な命を守ることが大切です。このため、自分や家族、地域の危険性を十分に把握し、危険から逃れる方法を決めておく必要があります。

平成27年8月の台風15号で発生した土石流
(県道下関長門線、大寧寺付近)

予想される災害の

危険性を知る

災害に備えるには、まず自分や家族、地域の危険性を知ることが大切です。市から配布されたハザードマップや、市のホームページに掲載している各種ハザードマップを再確認して、お住いの地域や職場、学校などの周辺の災害の危険性や避難場所、避難経路などを把握しておきましょう。



災害情報を集める

災害から身を守るためには、自ら気象情報や避難情報、災害発生情報を入手することが必要です。情報はテレビ(データ放送やテロップ含む)・ラジオ・防災行政無線・音声告知放送・長門市防災メールやインターネットなどから入手できます。

■音声告知端末機の活用

「音声告知端末機」は、大雨や風の音で屋外の防災行政無線が聞き取りにくい状況でも、避難情報、災害発生情報など重要な情報を確認することが出来ます。自らの命を守るためにも、梅雨時期を迎える前に家庭や職場などに設置して災害情報など

が確認できる準備をしていただきますようお願いいたします。

■長門市防災メールの登録

携帯電話やパソコンに気象情報や避難情報など防災情報が配信されます。また、停電時などにも情報が入手できる可能性が高いため、長門市防災メールへの登録をお願いします。(無料)

▼登録方法

e-magato@xpressmail.jpへ空メールを送信し、返信される登録用メールの案内に従って登録するか、下記のQRコードから登録してください。



避難情報の種類が

変わります

災害対策基本法の改正により、今年の5月20日から避難情報の種類が変わりました。主要な改正点としてはこれまで「避難勧告」を発令し、危険度が増した際に「避難指示(緊急)」を発令していたものが、「避難指示」に一本化されます。

特に、警戒レベル4「避難指示」の段階は災害発生時の危険性が極めて高いため、災害の危険性のある地域の人は全員避難(指定緊急避難場所等への避難)することが求められています。

■警戒レベルと市民が取るべき行動

警戒レベル	状況	避難情報や気象情報など	市民が取るべき行動
5	災害発生 または切迫	緊急安全確保	命の危険！ 直ちに安全確保

—— 警戒レベル4までに必ず避難 ——

4	災害の おそれが高い	避難指示	危険な場所から 全員避難
3	災害の おそれあり	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者などは避難
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意 報（気象庁が発表）	自らの避難行動を 確認
1	気象状況悪化の おそれ	早期警戒情報 （気象庁が発表）	災害への心構えを 高める

災害ボランティアに 登録しよう

高
危険度
低

長門市社会福祉協議会では、被災地の復興支援に欠かすことのできない「災害ボランティア」を募集しています。一人ひとりの力は小さくても、みんなができる範囲の力を合わせるにより、復旧・復興に必要な大きな力



▲被災地で活躍する災害ボランティア

となります。また、登録者には「災害ボランティア」に関する知識や活動要領などの研修等を行い、無理・不安のない活動をサポートします。

ボランティア活動を通して、被災地の状況や問題点などを実際に把握することができ、地域の防災を考える上で役に立つこともたくさんありますので、ぜひ「災害ボランティア」の登録をお願いします。

■災害ボランティアに登録するには
長門市社会福祉協議会に問い合わせ（申込み）ください。

☎22-8294 FAX22-4340

ウェブ版ハザードマップを公開しました

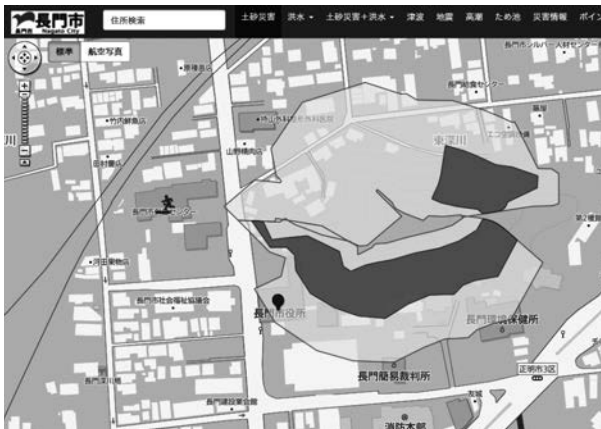
土砂災害・浸水想定・高潮想定区域など、長門市のホームページから各種ハザードマップをパソコン・スマートフォンでまとめてご覧いただけます。災害想定や避難所の確認に活用ください。また、AED設置個所やWi-Fi（ワイファイ）スポットなどの各種マップも掲載しています。

■長門市ウェブ版ハザードマップ / Nagato City Online Hazard Map (英語版)



■防災危機管理課

☎23-1111



▲災害警戒区域や避難所が地図上に示される

減らそう、災害ごみ

大規模災害が発生すると、建物の崩壊などにより大量のがれきや家具、家電などの「災害廃棄物」が発生します。災害の規模によつては、災害廃棄物の処理に数年を要します。生活環境の保全と公衆衛生の確保、そして早期復興のためにも災害廃棄物と生活ごみの分別が重要です。

災害廃棄物はリサイクル可能な品目が多くあり、適切な分別は、処理費用の削減につながります。

■平常時の備え

▼家具を壁に固定
家具や電化製品の破損を防ぎ、身を守ると同時に災害ごみを減らすことにつながります。

▼不要なものは処分
ブラウン管テレビや古いパソコンなど不要なものはふだんから整理しておくことで、災害ごみを減らすことにつながります。



▲災害時には大量のごみが発生する

■固生活環境課

☎23-1249